

2016 年度 小委員会活動成果報告

(2017 年 2 月 28 日作成)

小委員会名	文化遺産災害対策小委員会		主 査 名：足立裕司 就任年月：2016 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	歴史意匠委員会		委員長名：後藤 治 主 査 名：
設 置 期 間	2013 年 4 月 ～ 2017 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・文化遺産を災害から守るための仕組み作り ・2016～2019 年度 熊本地震、鳥取地震で被災した文化遺産の被害調査。 地震時に被災した文化遺産の被害調査と今後の対応応急策の検討。 関係学会、機関による研究・対策等に関する情報収集。耐震補強・火災対策、 建築基準法の文化財適用除外条項の拡大に伴う諸問題の検討。ほか 		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：なし		
	主査：足立裕司 (神戸大学名誉教授) 幹事：後藤治 (工学院大学) 委員：稲垣景子 (横浜国立大学)、梅津章子 (文化庁)、大窪健之 (立命館大学)、大橋竜太 (東京家政学院大学)、長谷見雄二 (早稲田大学)、花里利一 (三重大学)、藤田香織 (東京大学)、村上裕道 (兵庫県)、八木真爾 (佐藤総合計画)、安井昇 (桜設計集団)		
設置 WG (WG 名：目的)	なし		
2016 年度予算	170,000 円	ホームページ公開の有無： 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	1 回
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 特別研究委員会主催パネルディスカッション「歴史的な大規模木造宿泊施設を活用し続けるための課題と対策」に協力した。他委員会との領域間交流が進み有意義であった。 2. 委員会は拡大研究会として一般に公開して開催する予定なので、実質上のシンポジウムとして企画・開催する。多分野を集合した研究会なのでパネリストの選考等の手続きが遅れ、規程上のシンポジウムとはならなかった点で次年度以降は修正する必要があると考えている。 3. 以上二つの活動から、達成度としては満足できるものであった。
委員会活動の問題点 ・課題	1. 多領域の活動を包摂した研究テーマであるので、学会員外の企業や自治体のパネリストを招へいするには招請状等の発行を迅速に行う必要がある。 2. シンポジウムの企画と学会広報の間にずれがあり、昨今の情報化時代には合わない規定であると思われるので、規約修正をしてほしい。